

アクション・プランを実現するための提案書

(仮)「ワークショップ江津」の設置について

1. 江津市の現状

- 平成7年3月31日、江津市からハローワークが完全に撤退、以来、市民の求職活動は、ハローワーク浜田（浜田市）に行かざるを得ない状況にある。
- 地場産業の衰退
平成19年には、長引く景気低迷の中で本市の地場産業である窯業（石州瓦）の大手事業所が倒産、関連会社を含め270人の離職者が出た。
- 誘致企業の事業所閉鎖
平成22年には、国内工場の統廃合により、電子部品製造の事業所が撤退、約130名に影響を受け、止む無く市外へ転居された方もあった。
- 企業立地・産業支援等により市内企業の新規求人者数が200人以上出ているが、ミスマッチにより集まりにくい状況
- 若年者（新卒者）の圏外流出
就労希望新卒者の6割が圏域外へ流出
- 2010年国勢調査では、県内8市で人口減少率が最大

2. 提案理由

本市では平成20年度より、雇用・生活相談窓口を設置するとともに、働く者の雇用の場の確保を第一とし、市内企業の体力強化、産業人材育成事業等の事業を行いつつ共に市内事業所の訪問強化を図り、定住相談窓口も開設し住居等の情報提供を実施している。

また、島根県石見地域地場産業振興センターは、「産業（支援）人材育成事業」（在職者向けの実習）、ポリテクカレッジ島根、島根県西部高等技術校では人材育成事業（求職者及び在職者）をそれぞれの団体が実施している。

しかし、地元での就職やUターンを希望する方に対し、住む・働くといった情報の発信が分散しているため、適格な情報提供ができない状況があり、「住む・働くなどの情報」をワンストップで提供できる体制づくりが望まれる。

そこで、本市の持つ企業情報や企業支援施策とハローワークの持つ求人情報、職業相談・職業紹介機能を一体化し、連携することにより利用者の利便性の確保を図るとともに、企業への総合的支援を行うため「(仮)ワークショップ江津」を設立する。

3. 業務

「(仮)ワークショップ江津」の主業務

- 産業支援業務（江津市）
・「企業支援・人材育成コーディネーター」の配置

事業所情報の収集及び事業所への情報提供、雇用情報の収集
産業人材育成事業のコーディネート

- 職業相談、職業紹介（ハローワーク）
 - ・ 職業紹介、職業紹介担当者の配置
 - ・ 求人情報検索端末の実施
 - ・ 情報誌、リーフレット等の提供
 - ・ キャリアカウンセラーによる相談を予約制で実施
- 就職支援セミナー、企業ガイダンスの開催（ハローワーク・江津市）
若年者の市内への就職を促進

「(仮) ワークショップ江津」の関連業務

- 定住・福祉相談（江津市）
 - ・ 空家情報、生活情報等（医療・福祉・教育等）
 - ・ 生活困窮者、子育て女性等へ職業紹介等）に関すること
- 関係機関との連携（江津市産業振興連絡協議会の運営）
島根県西部県民センター商工労政事務所、江津商工会議所、桜江町商工会、しまね産業振興財団、島根産業技術センター、ふるさと島根定住財団、ポリテクカレッジ島根、島根県立高等技術校等
- 企業立地情報の収集

4. 実施体制

島根労働局と市で運営委員会を設置する。

5. 設置場所

「(仮) ワークショップ江津」は、江津駅前整備事業に整備される公共公益複合施設内に設置するものであるが、同施設の整備までの間、市役所内に設置する。
なお、駅前施設に移設後は、関連業務も併せて実施できるようにする。

6. 事業スケジュール

平成23年度	H23.12	事業実施の庁内、関係者合意
	H23.12	運営協議会（江津市と島根労働局）の準備会の設立
	H23.12	（仮）ワークショップ江津の設置事業の提案 ⇒内閣府
	H24.3	内閣府 ⇒ 認定
平成24年度	H24.4	運営委員会（江津市と島根労働局）の設立
	H24.4	（仮）ワークショップ江津の設置に向けての協議
	H24.8以降	（仮）ワークショップ江津の開設
		↓
平成27年度	H27.4	駅前公共公益複合施設に移設

(仮称)「ワークショップ江津」のイメージフロー

